

理事長あいさつ

■ 高齢者の生きがいの充実と社会参加の促進

理事長 眞島 勝



今年も昨年同様猛暑日がつづき、屋外で作業している会員の中にも軽い熱中症で体調をくずした方が何人かいらっしゃいました。「蜂刺され」の原因被害が多発したようです

が、いずれも早期処置により大事に至らずにすんだとのことなので安心していきます。

一方、今年も除草作業で「飛び石」による事故が5件、集草作業時に車同士の接触事故1件と自損事故が1件ありました。共にベテラン会員であり、「自分だけは大丈夫」「今まで何もなかった」など、ちょっとした油断で事故につながったと思われます。日頃から安全就業には細心の注意を払っていただいていることと思います、さらなる注意をお願いする次第です。

さて今期4～7月の受注額実績は50,264千円で前年同期比101.2%となり、昨年同様の実績を達成しています。

日本経済はゆるやかに景気が回復状況にあります。が、世界の社会情勢はまだまだ不安定な情勢にあり、世界経済も経済面でも厳しく推移すると思われます。今後も、7月までの状況を維持できるよう全力で頑張

っていく所存です。

少子高齢化が進み労働力が減少している中、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる、「生涯現役社会」（平成27年6月厚生労働省発表）を実現するため、シルバー人材センターは地域の日常生活に密着した、就業機会を提供することで、高齢者の「居場所」と「出番」づくりの実現に役割を果たしており、あわせて高齢者の生きがいの充実と社会参加の促進を実行し、地域社会の活性化と医療費や介護給付費の削減に寄与しています。

このためシルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」という理念のもと、国および地方自治体の施策、地域ニーズに対応した方策に重点的に取り組んでまいります。

精華町シルバー人材センターでは、3期つづいた赤字体質から脱却するため、経費の中で1番大きい人件費の削減ということで事務局職員を2名削減。効率のよい運営で他の経費の支出をできるかぎり抑えるよう、役職員が常に心がけて取り組んでまいります。会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

理事会等のうごき

平成29年度 第2回理事会 平成29年5月31日（水）
第8号議案 理事長及び副理事長並びに専務理事の選任について

上記全議案を可決しました

平成29年度 第3回理事会 平成29年8月25日（金）
第9号議案 公益社団法人精華町シルバー人材センター財務規程の一部改正（案）について
第10号議案 平成29年度 第1次収支補正予算（案）の承認について
第11号議案 相談役の解任について

上記全議案を可決しました



表紙写真のひとこと

穀倉地帯の精華町も、田植えや稲刈りも機械化されてきています。黄金色に光る稲の刈り取りがもうすぐ始まります。手動の稲刈り機と大型コンバインでの稲刈りを撮影しました。農作業のアナログとデジタル化の対比を、時代を感じさせられる一枚の写真として収めました。

田中 檜雄 撮影場所・菱田